

それでも「環境活動の情報を提供するにはまだ早い、抵抗がある」という工場等の皆様は、日頃のお付き合いから地域との交流を始めてみませんか？

2 日常的なコミュニケーション活動

日常的なコミュニケーション活動の最大の目的は、「地域の皆さんと顔見知りになること」です。

顔見知りになる → 何気ない会話の中から有益な意見をいただける → 早めの対応ができる

と、何か問題が起こった時も、事態が大きくなる前に対応することができます。

ここでは6項目を挙げてご紹介します。

既に実施されている活動もあるかもしれませんが、小さな交流から少しずつ活動を広げていってください。

① 地域の清掃(美化)活動への参加・協賛

- ・地域を思い貢献したいと考えていること、環境活動に熱心であることをアピールできます。
- ・自治会の役員の方などと知り合う機会にもなります。



② 地域の祭りへの参加・協賛

- ・自治会の役員の方などと知り合う機会になります。
- ・ブース出展ができれば、環境活動を紹介するパネルや自社製品の展示などを行うことにより、自社の活動をPRする機会にもなります。



③ 防災訓練の公開実施・参加

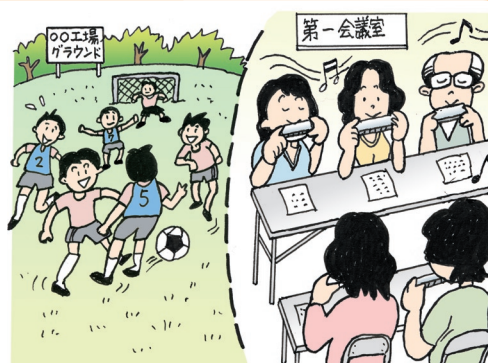
- 工場等の防災体制や施設の安全対策を実際に目で見ていただくことで、地域の皆さんに安心感を与えることができます。
- 地域の皆さんと災害時における連携や情報伝達の方法などを話し合うきっかけとなります。
- 実施・参加の様子をホームページ等で発信できると◎。



④ 施設の開放・貸出(グラウンド、会議室、駐車場など)

- 場内に入ることによって、地域の皆さんに工場等に対して親近感を持っていただけるようになります。
- 地域に貢献することができます。

注意 施設の破損や怪我等のトラブルに対する備え(使用時の制約事項、使用者の保険加入の徹底等)も検討した上で実施するようにしてください。



⑤ 工場まつり等の開催

- 地域の皆さんに気軽に場内を見ていただく良い機会となります。
- 併せてアンケートを行うことで、来場者が普段から工場等に対して感じていることを聞き取る機会にもなります。
- 工場見学会やパネル展示、製造製品等のPRなど、地域の皆さんに工場等の事業内容や取組を知っていただけるような催しを取り入れるとよいでしょう。

⇒ 案内文書 作成例 P17

⇒ アンケート 作成例 P18



⑥ 近隣住民への定期的な訪問

- 戸別に訪問することで、何気ない会話の中から有益な情報が得られたり、きめ細かな対応ができます。
- まずは、地域自治会の会長さんのお宅を訪問してみるとよいでしょう。
- 既に年末年始などにご挨拶を行っている場合には、環境対策や防災対策の話題も付け加えられると◎。

